【看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科 社会福祉専攻】カリキュラムマップ(2024年度入学生用)

	: 子工(医療悀怔子)	ディプロマ・ポリシー															
den Pale som a	,	DP1:人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している		-													
知識・理解	幅広い視野	DP2:社会福祉、精神保健福祉分野に関する適切な知識や理解、そして技術	を有して	こいる													
		DP3:幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる DP4:適切な日本語運用力を修得し、活用することができる															
		DP5: 母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用する	5ことが7	きる													
汎用的能力	基本的能力	DP6:基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる	,,,														
		DP7:数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができ	 ₹る														
		DP8: 仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につ		5													
	豊かな人間性	DP9:多様性の尊重と共生の精神を有している															
		DP10:日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことか	べできる														
態度・志向性		DP11:高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができ	3														
	態度·志向性	DP12:社会福祉・精神保健福祉分野の知識・理解・技能等に基づき、対話や	議論を	■視し、作	也者・他で	文化との相!	互理解に	努めるこ	ことができ	<u>*</u> る							
		DP13: 社会福祉・精神保健福祉分野の知識・理解・技能等を活用して、社会				いる											
統合的な学習経験 と創造的思考力	応用的能力	DP14:自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成 DP15:現代社会の諸問題を解決するために、社会福祉・精神保健福祉分野・				呵 显真色沙 : 九 / 一	±94651-	- Ho (148)	t>= L48	カキ Z							
		DF10. 別で社会の間の過ぎ序次するために、社会価値・特性体値価値力まれ	O) All BRIC	IX RE C /	аль	可超所次に	失权的。		イプロマポ		項目番号						
学科目	料目の主題	料目の副連目標					O:DP	意成のた	めに設定	された副	第日毎と	国連性が	5ō				
7 11 12	WHO THE	行口の対応日報		1				※ 1	つの選成	目標に対	して最大	3個まで					
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP18
	包括的な視点で地域・在宅で生活している	1. 我が国の少子高齢化に伴う問題を理解する	0								0		0				
包括的ヘルスケア論	人々に対する保健・医療・福祉の施策の 動向を学ぶ		0								0		0				
		3. 地域包括的ケアの実際を学ぶ			0							0			0		
	人の生命の尊厳と基本的人権、尊厳死な	1. 人としての命の尊厳と基本的権利を対人援助職の視点から理解できる			0				_	0	_				<u> </u>	0	
生命倫理	人の生命の身級と基本的人性、身級死などについて学び、言語聴覚士として基本的 倫理原則・倫理理論を学ぶ	対人援助職として倫理的原則、生命・医療倫理を理解している 日常生活の場の問題解決を倫理的判断にもとづいて考察できる			_					0		^		0		0	_
		3. 日常生活の場の問題解決を備理的判断にもとついて考察できる 1. ターミナル期の患者が抱える問題を理解する			0					0	0	0	0		Н		0
ターミナルケア	ターミナル期の問題を理解し、現状を学ん だうえで、いかにターミナル期の患者に向	1. フーミノル物の出名かれる心の題と性所する 2. ホスピス運動や緩和ケアの現在について理解する			0					Ť	0		0				
. ~///	き合うかについて、学修する	3. コミュニケーションスキルや死生観(基本的な心構え)などを学ぶ	0		Ť					0	Ť		0				-
		1. 取得を目指している資格は、他職種と連携し地域における包括的なヘルスケアシス								0			U		\vdash		_
	医療福祉機関をはじめとした地域の生活	テムを担い、人の命を教う専門職としての資格であることを理解する		0											0		0
専門職の連携(基礎)	者の支援に関わる職種の役割を理解する	2. 地域における包括的なヘルスケアシステムを担う他の専門職を理解する									0		0	0	<u> </u>		
		3. 他職種の視点を通して、将来についてのより明確な自己像を描けるようになる													0	0	0
	他職種との連携協働の実際を学習する専 門職連携に関する発展的な科目であり、	1. 他職種間での専門的かつ高次なコミュニケーションをはかれるようになる			0						0			0	<u> </u>		
専門職の連携(応用)	門職連携に関する発展的な科目であり、 実践力のある専門職として就職するため の総まとめ的な学習を行う	2. 実例を取り上げることで、より具体的で実践的な援助方法を理解する			0									0			0
	WWW.COMPA-18 5117	3. 専門職としての自己意識を高め、資格取得に向けての意欲向上を目指す			0									0		0	
	建学の精神に基づき、社会福祉やリハビ	1.建学の精神に基づく対人援助の基本を理解する								0	0		0				
仏教と医療福祉 I	リテーションの領域を「医療福祉」ととら え、仏教と医療福祉の関係を考える。医療 福祉の側面からは、その価値基盤と仏教	2. 仏教と医療福祉の関係を理解する								0	0		0				
	福祉の側面からは、その価値基盤と仏教 信仰の調和的関係構築が問題になる。こういった仏教と医療福祉の協働について 学ぶ。	3. 仏教と医療福祉の協働について理解する								0	0			0			
		3. 山水に応放悟性の協関について座所する								Ü	Ü			0	<u> </u>		
	医療福祉の現場において対人接助を行う場合、仏教に基づく人権専軍の価値観に、接助の買に対して影響を入るものである。より高い専門性を備えた対人援助職のあり方について、実際の事例を参考に学生同士の学び合いから理解を深めていく。	1. 仏教に基づく人権尊重の価値観を修得する								0	0		0				
仏教と医療福祉Ⅱ		2. 高い専門性を備えた対人援助職のあり方を理解する								0	0			0			
		3. 実際の事例から学生の学び合いを通して専門職間の連携を理解する								0	0			0			
	近平、医療から介護制度を含む悟低への	1. 医療の実際について理解する			0						0						0
医療福祉連携論	シームレスな連携が求められている。医療 と福祉について理解を深め、それらの連 携の実際と理想を学ぶ	2. 福祉の実際について理解する			0						0						0
		3. 医療と福祉との連携の実際と理想を理解する			0						0				<u> </u>		0
日常生活支援学	ADLの概念、リハビリテーション医学にお ける重要性を学び、日常生活活動の範 囲・より幅広い日常生活関連動作、QOLな	ADL+APDL+IADL+QOLの概念や範囲を説明できる。 ICIDH, ICFについて説明できる。		0	0										\vdash		0
口带工冶文设于	どの概念との関係も理解し、対象者の日 常生活を支援する専門家としての視点を 学ぶ。	2. IOIDA、IOFに JC で読みできる。 3. 人の生活におけるADLとその他の活動との関係性重要性を説明できる。		0	0												0
	災害時の医療活動が行政の中で、どのよ	1. 災害時のリハビリテーション支援が行政の中でどのように位置づけられるのか理解で きる。		0	0												
地域災害リハビリテーショ ン	うに位置づけられ、その中のリハビリテー ション支援活動のあり方を理解する。ま た、災害時のリハビリテーション支援活動	⊆ 必っ2. 災害フェーズに合わせたリハビリテーション支援のあり方を説明できる。		0	0												
	における作業療法士の役割を学ぶ。	3. 災害時のリハビリテーション支援活動における作業療法士の役割を理解する。		0	0												
	社会福祉士及び精神保健福祉士として、	1. わが国の障害者に関する歴史と施策に関して理解し、必要な行動がとれる		0										0	0		
障害者福祉	障害者福祉サービスのこれまでの歴史、 社会背景を通じて、現状の障害者福祉の	2. 障害者に対する福祉サービスの種類、目的、その効果について理解し専門職を目指す者として活用できる		0											0		0
	意義と課題について習得できるようにする	3. 障害者福祉サービスと他の福祉サービスと比較し、総合的に理解できる													0		0
	社会の将来を担うのは子ども達だが、昨	1. 子どもが健全に暮らすために求められることは何かを知る		0							0		0				
子どもと社会福祉	今では、子どもをめぐる痛ましい事件や 数々の社会問題が顕在化している。虐 待、貧困、社会的養護、医療的ケアの不	□ フリシャルク744人間窓に伸ぶた すっ中間とか?												_			
	足、また保育所の待機児童問題など、課 題は山積している。ここでは、社会福祉専 攻で学ぶ礎として、子どもと社会福祉に関	2. 子どもをめぐる社会問題に気づき、その実際を知る		0										0	0		
	攻で学ぶ礎として、子どもと社会福祉に関する基礎事項を実践的に学ぶ	3. 子どもの暮らしを支える制度や地域の取り組みを学ぶ		0											0		0
	20人程度のクラスで、社会福祉の現状、 日常生活(体験)等から社会福祉的課題	1. 社会福祉の意義と価値について理解する									0		0	0			
並建治 率・	に気付き、社会福祉的なものの考え方や 感覚を学ぶ。福祉現場の見学、当事者・	の社会領地東国際のの割しつにでである。		0										_	_		
基礎演習 I	家族の話を聴くことで、社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験する。またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等	2. 社会福祉専門職の役割について理解する		U										0	0		
	の演習方法についても基本的な学習を行う	3. 自らの社会福祉的な考え方について検証を行う		0	0					Ī				0			
	20人程度のクラスで、社会福祉の現状、	1. 社会福祉の意義と価値について理解する									0		0	0			
	日常生活(体験)等から社会福祉的課題 に気付き、社会福祉的なものの考え方や 感覚を学ぶ。福祉現場の見学、当事者・		-														
基礎演習Ⅱ	家族の話を聴くことで、社会福祉を学ぶこ との意義や面白さを体験する。またリサー	2. 社会福祉専門職の役割について理解する		0										0	0		
	チ、プレゼンテーション、ディスカッション等 の演習方法についても基本的な学習を行 う	3. 自らの社会福祉的な考え方について検証を行う		0	0					Ī				0			
		1. 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を説明できる。	0		0					-	0						
社会福祉の原理と政策I	福祉制度の意義・理念、福祉の原理をめ ぐる理論・哲学をふまえ、現代の社会問題 の特性について理解できる		0		0						0						
	の特性について理解できる	3. 社会構造の関係から現代の社会問題について説明できる。	0		0						0						
	福祉政策の基本的視点、概念・理念、構	1. 福祉政策の基本的視点と概念・理念を説明できる	0	L	0		L			L	0						
社会福祉の原理と政策Ⅱ	成要素、福祉政策とその課題について学 び、包括的支援や福祉サービス供給過程	2. 福祉政策の構成要素について説明できる	0		0						0						
	について理解できる	3. 福祉政策と包括的支援について説明できる	0	1	0	1	1	_		1	0	_			,		

								#	イプロマボ	リシーの	項目番号	i.					
学科目	料目の主題	料目の到達目標					O:DP	建成のた ※1	めに設定 つの達成	された到日標に対	連目標と して最大	関連性が 3個まで	ある				
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
	I、Ⅱに続いて、社会福祉の現状、日常 生活(体験)等から社会福祉的課題に気 付き、社会福祉的なものの考え方や感覚	1. 現代社会の多様な社会福祉の現状と課題について自ら考察する		0	0									0			
基礎演習Ⅲ	を学ぶ。見無ないののあるカインと記え を学ぶ。というでは、 社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体 験またリサーチ、プレゼンテーション、ディ	2. 考え、気付いた事柄について適切にまとめ、発表する				0		0	0								
	スカッション等の演習方法についても修得 する	3. 社会福祉の専門職の役割について、深く考えることができる		0											0		0
	I、Ⅱに続いて、社会福祉の現状、日常 生活(体験)等から社会福祉的課題に気	1. 現代社会の多様な社会福祉の現状と課題について自ら考察する		0	0									0			
基礎演習Ⅳ	生活(体験)等から社会福祉的課題に気 付き、社会福祉的なものの考え方や感覚 を学ぶ。見学やゲストの話しを聞くことで、 社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体	2. 考え、気付いた事柄について適切にまとめ、発表する				0		0	0								
	社会福祉を学ぶことの意義や面白さを体験またリサーチ、プレゼンテーション、ディスカッション等の演習方法についても修得する	3. 社会福祉の専門職の役割について、深く考えることができる		0											0		0
	本講では心の健康を害することがある人	1. 現代社会が抱える問題について理解する									0		0				0
	間関係などのストレス場面、自然災害や 通重労働による心的外傷など現代社会が 抱える問題について社会福祉の視点から	2. 現代社会の問題を社会福祉の視点からとらえ、その解決・取り組みを理解する									0		0				0
心の健康と社会福祉	捉え、その解決・取り組みについて考える 機会とする。また授業の中で「心の健康」 を保つために自分のストレスマネジメント																
	について学ぶ。	3. 自分のストレスマネジメントについて理解する								0	0		0		<u> </u>		
	保健医療の動向、政策、制度、サービスを	1. 保健医療の動向を説明できる。			0				0							-	0
保健医療と福祉	知り、保健医療領域の社会福祉士の役割 と連携や協働について理解する	2.保健医療に係る政策、制度、サービスについて説明できる。3.保健医療領域の社会福祉士の役割や支援の在り方について説明できる。		0										0	0		0
	精神保健福祉法等に関する法制度の概	1. 精神保健福祉法等に関する法制度の概要と課題の理解、制度に規定される精神保		0										0	0		Ů
精神保健福祉制度論	要と課題の理解、制度に規定される精神 保健福祉士の役割について理解する。生 活保護制度、生活困窮者支援制度に関す	健福祉士の役割について説明できる生活保護制度、生活困窮者支援制度に関する精神保健福祉士の役割について説明		0											0		0
	る精神保健福祉士の役割を理解する。障 害者に関する制度とその限界や課題を理 解する	できる 3. 障害者に関する制度とその限界や課題について説明できる		0											0		0
	社会福祉の現実を見聞きすることや、学 生の日常生活(体験)等から社会福祉的 課題を見つける訓練を中心に、社会福祉的 的なものの考え方の基本や社会福祉的な	1. 現代社会における社会福祉の表象について考察する		0	0			0									
社会福祉専門演習I	感覚を学ぶ。具体的には種々の現場を見 学する、現場ワーカーや当事者・家族の	2. 生活の中の社会福祉の役割について様々な現象から検証する		0	0			0								DP14	
生生を受います。	話を聴く、ボランティアと交流する、ビデオ 教材等を積極的に用いる等の方法を駆使 して、社会福祉を学ぶことの意義や面白さ な体験する。またリサーチ・ブレザンテー	THE THE PROPERTY OF THE PROPER		Ĭ											<u> </u>	<u> </u>	
	を体験する。またリサーチ、プレゼンテー ション、ディスカッション等の演習方法につ いても基本的な訓練をする	3. 現存する社会福祉サービスの機能について検証する		0	0			0									
															_	<u> </u>	
	社会福祉の現実を見聞きすることや、学 生の日常生活(体験)等から社会福祉的 課題を見つける訓練を中心に、社会福祉	1. 現代社会における社会福祉の表象について考察する		0	0			0									
社会信礼書館湾環市	的なものの考え方の基本や社会福祉的な 感覚を学ぶ。具体的には種々の現場を見 学する、現場ワーカーや当事者・家族の			_	_			_									
在安倍征导门澳首 1	話を聴く、ボランティアと交流する、ビデオ 教材等を積極的に用いる等の方法を駆使 して、社会福祉を学ぶことの意義や面白さ	2. 生活の中の社会福祉の役割について様々な現象から検証する		0	0			0									
	を体験する。またリサーチ、プレゼンテー ション、ディスカッション等の演習方法につ いても基本的な訓練をする	3. 現存する社会福祉サービスの機能について検証する		0	0			0									
				_											_	<u> </u>	
医学知識	高齢者、障害者等を支援、援助する際に 必要な保健・医療の知識を習得し、心身 機能と身体構造及び様々な疾病や障害の	1.人の身体構造と心身機能について説明できる - 2.ライフステージにおける心身の変化と健康・疾病のとらえ方を説明できる		0											0		
NO. 1. VALDA	概要について、人の成長や発達、日常生活との関係をも踏まえて理解する	2.疾病と障害の成り立ち、健康課題を解決するための対策について説明できる		0											_		0
		1. 社会福祉調査の意義と目的について説明できる		0													
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の意義と目的、について理解する。また調査結果の理解と評価の意義・方法について理解する	 社会調査には量的調査と質的調査があり、どのような場合にそれを適用することができるかを理解できる。 		0											0		
	数・万点について生所する	3. 尺度、科学的方法、仮説といった社会調査のための基礎知識が説明できる		0					0								0
	社会福祉士と精神保健福祉士の役割と意	1. 社会福祉士と精神保健福祉士の法的な位置づけについて説明する		0											0	_	0
サ門職 専門職	義、ソーシャルワークの考え方と形成過程、価値規範と倫理について理解する	2. ソーシャルワークの基盤となる考え方と形成過程について説明できる		0							0				0		
	ソーシュリローカー度で実際地の概念し	ソーシャルワークの価値規範と倫理について説明できる 社会福祉士に求められる役割について説明できる		0							0				0	_	0
ソーシャルワークの基盤と 専門職(専門)	ソーシャルワークに係る専門職の概念と 範囲、対象と関連性について理解する。社 会福祉士の職域と役割について理解し、 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の	2. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲、対象について説明できる		0											0		0
	総合的がうさんがな文体Cタ様性連携の 意義と内容について理解する	3. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携ま意義と内容について説明できる		0											0		0
ソーシャルワークの理論と	ソーシャルワークの理論や概念とそれに	ソーシャルワークの過程とそれに係る知識、技術について説明できる ソーシャルワークの概念とその展開について説明できる		0											0	-	0
万法!	係る知識と技術について理解する	3. 人と環境の交互作用について説明できる		0											0		0
ソーシャルワークの理論と	ソーシャルワークの実践モデルとそれぞ れのアプローチについて理解できる。ソー	1. ソーシャルワークの実践モデルについて説明できる		0											0		0
方法Ⅱ	シャルワークのスーパービジョンについて 理解できる。	 ソーシャルワークの様々なアプローチについて説明できる ソーシャルワークのスーバービジョンについて説明できる 		0											0		0
	実践的かつ効果的なソーシャルワークの	1. 社会福祉士として多様化・複雑化する課題を説明できる		0											0		0
ソーシャルワークの理論と 方法Ⅲ	実践的かつ効果的なソーシャルワークの 理論と方法を理解する。援助関係の形成 やニーズ掘り起しのための知識と技術を 理解する	2. 実践的かつ効果的なソーシャルワークの理論と方法について説明できる		0											0		0
	AEDT 7 V	 支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズ掘り起しのための知識と技術について説明できる 		0											0	<u> </u>	0
い とこり カの理論し	社会資源の活用、開発、ソーシャルアク	1. 社会資源の活用、開発、ソーシャルアクションについて説明できる		0											0		0
方法Ⅳ	ションについて理解する。事例分析の意義 や方法を理解する。			0											0		0
		1. 地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について説明できる 1. 地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について説明できる		0										0	0	<u> </u>	0
地域福祉と包括的支援体 制 I	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向 を理解する。地域福祉の主体と対象を理 解する。地域福祉行政の体制と役割を理	2. 地域福祉の主体と対象について説明できる		0										0	0		
	解する	3. 地域福祉行政の体制と役割について説明できる		0										0	0		
地域福祉と包括的支援体 制 II	福祉計画の意義・目的、展開を理解する。 包括的支援体制と多職種連携の意義について理解する。その中での社会福祉士、	福祉計画の意義・目的、展開について説明できる 包括的支援体制と多戦程連携の意義について説明できる		0										0	 	<u> </u>	0
·	精神保健福祉士の役割を理解する	3. その中での社会福祉士、精神保健福祉士の役割について説明できる		0										0			0
	基礎的な専門的学習及び見学やボラン ティア活動等で得た知識や見聞・体験ある いは社会福祉的感覚をベースに、10人程	1. 基礎的な社会福祉に関する理解を踏まえて、より専門的に社会福祉前派について検 証を行う		0	0						0				\vdash	\vdash	
会福祉調査の基礎 解:	度のクラスで、自分の選んだ具体的な社 会福祉課題について、総合的でダイナミッ クな理解を深めることや、それらに対する	2. 自らの社会福祉分野の関心について、より深く学習を行う		0	0						0						
	社会福祉的取り組みの基本的なあり方を 学ぶ。そのために個人、或いはグループ でのリサーチとプレゼンテーション、そして クラス全体での積極的なディスカッション	2 女業論文のモニフレーア間連→2申並 凍料を枠57-1-7		_	_						_						
	クラス全体での積極的なディスカッション やディベートを展開する	3. 卒業論文のテーマとして関連する書籍、資料を検証する		0	0						0				<u> </u>	<u> </u>	
	I に続き通年実習も経験して、自分の進路を考えつつ卒業研究に取組む最終学年での演習として、コミュニティ福祉と産業福	1. 実習を通じて体験した事柄、社会福祉的視点からまとめる		0	0	L		L		L	0				L	L	
社会福祉専門演習Ⅳ	祉という21世紀の社会福祉に相応しい課 顕の中から自分らしいテーマを選び、演習	2. 自らの社会福祉分野の関心について、より深く学習を行う		0	0						0						
	での活発な討論を重ねながら、自分らしい 視点、方法、そして表現で研究を進めてい くのがこの演習の課題である	3. 卒業論文のテーマとして関連する書籍、資料を検証する		0	0						0						
				Ĺ	Ĺ						ĺ					<u> </u>	

学科目	料目の主題	料目の到途目標					O:DP	建成のた	イプロマボ めに設定 つの途域	された到	連目標と	関連性が	8 8				
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	つの達成 DP7	日本に対 DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP18
	専門演習Ⅱでの活発な討論を重ねなが	1. 関心のある社会的事象を社会福祉的視点から捉える		0	0											0	
卒業研究	ら、担当教員からの個別指導を受けて、論 文という形式に限定されることなく、テーマ に相応しい自由な表現形式を選択して、4	2. 関連する文献や資料を収集し、まとめる		0	0											0	
	年間の学習成果をまとめ上げる。社会へ 飛び立つための自分の原点として、社会 で取組む自分の課題と方法を明確にする	3. 論文としてまとめ、ブレゼンテーションを行う		0	0											0	
	社会福祉士と精神保健福祉士として求め	1. 社会福祉士と精神保健福祉士として求められる基礎的な能力について説明できる		0											0	-	-
ノーシャルワーク演習	られる基礎的な能力について理解する。 ソーシャルワークの価値、知識、技術を実 践的に理解する。ソーシャルワークに必要	2. ソーシャルワークの価値、知識、技術を実践できる		0							0		0				
	なコミュニケーション能力を養う	3. ソーシャルワークに必要なコミュニケーションを実践できる		0										0	0		
ノーシャルワーク演習(専 門) I	ソーシャルワークに必要な価値規範を理	 ソーシャルワークに必要な知識や技術の統合を説明できる ソーシャルワークの専門的援助技術を概念化、理論化できる 		0											0		0
-1) I	解し、専門的援助技術を理論化する。	3. ソーシャルワークの価値規範について説明できる		0							0				0		
	日本の社会保障制度と年金保険・医療保	1. 日本の社会保障制度の概略を理解できる		0													0
社会保障 I	険の概略を理解できる	2. 年金保険と医療保険の仕組みを説明できる 3. 外国の制度と比較して、問題点を指摘できる		0													0
		1. 雇用保険・労災保険の制度を理解できる		0													0
社会保障Ⅱ	日本の社会保障制度としての雇用保険・ 労災保険・介護保険を理解できる	2. 介護保険と高齢者の生活を説明できる		0												<u> </u>	0
	高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家	 外国の制度と比較して問題点を指摘できる 高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家族を取り巻く社会環境について説明できる 		0												-	0
高齢者福祉	族を取り巻く社会環境について理解する。 高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度を 理解する。社会福祉士としての支援につ	2. 高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度について説明できる		0													0
	いて理解する	3. 社会福祉士としての支援について説明できる		0											0		0
	現代社会の子どもの生活実態を、子どもと子どもをとり巻く環境の視点からとらえて	1. 現代社会における子どもの生活実態を知り、その背景を多面的に理解する		0									0				0
記章・家庭福祉(子ども家 怪福祉)	把握する。また、そのなかで生じている社 会問題や生活上の困難について、児童・ 家庭福祉領域においてどのような理念・考	2. 子ども家庭福祉の基盤となる理念・価値を学ぶ		0									0	0			
	え方のもと、どのような支援がなされてい るのかについて学んでいく	 子ども家庭福祉における具体的な制度・サービスなどを知り、それらの活用と子ども や家庭への支援について検討する 		0									0				0
		1. 日本の社会保障制度の中核としての生活保護制度の重要性を認識できる		0													0
生活保護制度	公的扶助としての生活保護制度の仕組み と問題を理解できる	2. 生活保護制度の概要を説明できる		0													0
		 貧困による生活課題に対して社会福祉士としての支援の在り方を説明できる ソーシャルワーカーとして必要な成年後見制度、日常生活自立支援事業の知識を身 		0										0	0	 	
	ソーシャルワークにおける法との関わりを 学び、成年後見制度と権利擁護活動の実際を理解する。ソーシャルワークにおける	につける		0										0		-	
権利擁護を支える法制度	成年後見制度と法(憲法、民法、行政法) との関わりについて理解する。意志表出 が困難な者に対する権利擁護活動の実際	2. 権利擁護活動の実際について理解する		0										0			
	について理解を深める	3. 憲法、民法、行政法といった社会福祉に関する法の理解を深める		0													0
刑事司法と福祉	刑事司法の動向と制度を理解する。刑事 司法の関係機関の役割について理解す	1. 刑事司法の動向と制度について説明できる		0										0		<u> </u>	
	司法の関係機関の役割について理解する。社会福祉士および精神保健福祉士の 役割について理解する	2. 刑事司法の関係機関の役割について説明できる		0										0	0	<u> </u>	
	短礼山 ピッナ担併ナス個体が回けの概	刑事司法における社会福祉士および精神保健福祉士の役割について説明できる 相能サービスを提供する組織や団体の概要について説明できる		0											0		0
福祉サービスの組織と経 営	福祉サービスを提供する組織や団体の概要を理解する。福祉サービスの組織の経営の視点と方法を理解する。福祉サービスの組織の経営の視点と方法を理解する。福祉サービスの組織の基礎理論、労働者の管理を	2. 福祉サービスの組織の経営の視点と方法について説明できる		0													0
	スの組織の基礎理論、労働者の管理、福 祉人材マネジメントについて理解する	3. 福祉サービスの組織の基礎理論、労働者の管理、福祉人材マネジメントについて説明できる		0													0
	現代社会における社会的養護の意義と歴 史的変遷を押さえたうえで、子どもの人権 擁護を設まえた社会的養護の基本を理解 する。また、社会的養護の制度、実施体系 等、対象、形態、関係する専門職等の理解 も目指す。社会的養護の現状と課題全般 も形態する。			0									0				0
社会的養護I		2. 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する		0										0			0
		3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する		0									0				0
																 	-
	不登校、いじめ、ヤングケアラーなど子ど を巡る課題や特技場の関節が山積している。それらを理解し、教育福祉の視点 からスクールンシャルワーカーが必要と される背景を知り、子ども、学校・地域が結 なる課題へのリーシャルワーク来渡はこ いて学ぶ、また。具体的な事例をもとに デーム学校と情報するうえでのスケールン/ーシャルワーカーの役割について理 解する。	1. 子どもをめぐる課題や学校現場の課題を理解する	0		0									0			
スクールソーシャルワーク 概論		2. 教育福祉の視点からスクールソーシャルワーカーの必要性を理解する		0											0		0
		 事例をふまえ「チーム学校」を構築するうえでのスクールソーシャルワーカーの役割 															_
		を理解する												0	0		0
	作業療法士としての学びを始めるに当た	1. リハビリテーション医療の歴史・理念・原則を理解する。		0										0	0		
リハビリテーションの理念	り、疾患の成り立ちや治療に関する専門 知識を学ぶ前段階として、専門職として基 盤となるリハビリテーション医療の骨格を	2. リハビリテーションの対象となる疾患・障害について理解する。		0										0	0		
	まなぶ。	3. わが国におけるリハビリテーション医療の現状と課題を理解する。		0										0	0		
		1. 発達障害の基本的な知識が説明できる		0							0					0	-
発達障害と制度	発達障害の基本的な知識と、発達障害者 (児)を支援するために必要な制度、方法	発達障害者(児)支援に必要な制度を説明できる		0							0					0	
	を理解する	3. 発達障害者(児)への支援方法を説明できる		0							0					0	
		1. 様々な社会・生活場面において、社会福祉との関係を理解できる	0	0	0											<u> </u>	
社会福祉学特講 I	個々の多様な生活場面において、社会福祉がどのような関わりをもつのかを具体的	2. 各社会福祉サービスの目的と、実際に利用する際の機関や手続き方法について理解できる	0	0	0												-
	な事象を通じて理解ができる	3. 関心のある具体的事例について、社会福祉専門職として必要な知識と技術とは何か を理解できる	0	0	0												
	個々の多様な生活場面において、社会福	1. 身近な地域社会で起きている福祉的事象を俯瞰できる	0	0	0												
社会福祉学特講Ⅱ	祉がどのような関わりをもつのかを具体的 な事象を通じて理解ができる	2. ニーズ把握とアセスメントの力を養い、それぞれの支援について検討できる	0	0	0												
		 地域もふくめた総合的包括的支援のあり方を考察できる 他職種連携が求められる場面とはどのような場面なのか、他領域と社会福祉との関 	0	0	0											 	
社会福祉学特講皿	個々の多様な生活場面において、社会福 祉がどのような関わりをもつのかを具体的	係を理解できる 2. 具体的な事例検討を通じて、福祉と多職種との連携協働を理解する	0	0	0											\vdash	
	な事象を通じて理解ができる	3. 他職種連携の具体的事例を通して、社会福祉専門職として必要な知識と技術を深める	0	0	0												
	個々の名様か片工根本によい。 エ 私 ^ に	様々な社会・生活場面において、社会福祉との関係を理解できる	0	0	0												
社会福祉学特講IV	な事象を通じて理解ができる。また、国家	2. 各社会福祉サービスの目的と、実際に利用する際の機関や手続き方法について理解できる	0	0	0												
	試験合格への意欲を高める	3. 関心のある具体的事例について、社会福祉専門職として必要な知識と技術とは何か を理解できる	0	0	0								L				L
	精神疾患の主な症状、経過、治療法を理解する。特殊医療とした経過である。	1. 精神医学の歴史、社会的構造について説明できる		0										0			L
清神医学と精神医療I	解する。精神医療と人権擁護の歴史を理解し、精神保健福祉法における精神保健 福祉士の役割を理解する	2. 精神医学と精神保健福祉法制度の連携と実際について説明できる		0											0	<u> </u>	<u> </u>
		 精神病院と精神保健福祉施設や精神保健福祉士の役割について説明できる 精神病院などでのチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について説明 		0											0	\vdash	-
	精神保健福祉法等に関する法制度の概 要と課題の理解、制度に規定される精神 保健福祉士の役割について理解する。生	1. 精神病院などでのナーム医療の一見としての精神体腫倫征工の役割について試明できる		0											0	<u> </u>	0
精神医学と精神治療Ⅱ	活保護制度、生活困窮者支援制度に関す	1	i	1 -	1	1	Í.	i	1	1	i	1			0	1	0
精神医学と精神治療Ⅱ	活保護制度、生活困窮者支援制度に関す る精神保健福祉士の役割を理解する。障 害者に関する制度とその限界や課題を理	2. 地域の多職種連携における精神保健福祉士の役割について説明できる		0											Ü		Ļ

学科目	料目の主題	ディブロマポリシーの項目番号 O:DP遠慮のために要定された到道目標と関連性 ※1つの遠慮問題に対して最大が創ます																				
		····	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	₩1 DP6	つの達成 DP7	目標に対 DP8	して最大 DP9	3個まで DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15					
		1. 現代の精神保健分野の動向と課題について説明できる		0											0							
現代の精神保健の課題と 支援 I	現代の精神保健分野の動向と課題を理解 する。精神保健の基本的な考え方を理解 する。生活環境ごとの精神保健福祉士の 役割を理解する。	2. 精神保健の基本的な考え方について説明できる		0											0							
~ i.v. ·		3. 生活環境ごとの精神保健福祉士の役割について説明できる		0											0		-					
				0										0		DP14	0					
現代の精神保健の課題と	高齢者の特徴をふまえ、高齢者とその家族を取り巻く社会環境について理解する。	1. 専門機関・専門職の連携について説明できる		_										Ü	_	-						
支援Ⅱ	高齢者福祉の歴史と発展過程、法制度を 理解する。社会福祉士としての支援につ いて理解する	2. 精神保健の保持・増進、発生予防の支援について説明できる		0											<u> </u>		0					
		3. 海外の精神保健の現状と対策を説明できる		0												<u> </u>	0					
精神保健福祉の原理 I	障害者福祉の基本的枠組みを理解する。 精神障害者の定義、構造的な理解、生活 実態を理解する。精神疾患や精神障害を	1. 障害者福祉の基本的枠組みについて説明できる 2. 精神障害者の定義、構造的な理解、生活実際について説明できる		0	0								0	0		-	0					
何で休味画はの赤生!	実態を理解する。精神疾患や精神障害を 持つ当事者に対する価値観を体得する	3. 精神疾患や精神障害を持つ当事者に対する価値観について説明できる									0		0	0								
	精神保健福祉士の存在意義と職業的アイ デンティティを理解する。精神保健福祉士	1. 精神保健福祉士の存在意義と職業的アイデンティティについて説明できる												0	0	0						
精神保健福祉の原理Ⅱ	デンティティを理解する。精神保健福祉士 の倫理綱領に基づく職責を理解する。精 神保健福祉士の職域と業務特性を理解する	2. 精神保健福祉士の倫理網領に基づく職責について説明できる		0									0			0	0					
	精神障害及び精神保健福祉の課題を持	 精神保健福祉士の職域と業務特性について説明できる 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの通程について説明できる 		0									0	0	0		0					
ソーシャルワークの理論と 方法(専門) I	つ人に対するソーシャルワークの過程を 理解する。その家族の支援について理解 する。多職種・多機関との連携方法と精神	2. その家族の支援について説明できる		0										0	0							
	保健福祉士の役割を理解する	3. 多職種・多機関との連携方法と精神保健福祉士の役割について説明できる		0													0					
V S. C. II D. AMBRICA	組織運営管理、組織介入、組織活動の展 開について理解する。個別支援からソー	1. 組織運営管理、組織介入、組織活動の展開について説明できる		0											0							
ソーシャルワークの理論と 方法(専門) II	シャルアクションまでの展開過程を理解する。他分野での精神保健福祉士の実践を 理解する	2. 個別支援からソーシャルアクションまでの展開過程について説明できる		0											_	₩	0					
	* =	3. 他分野での精神保健福祉士の実践について説明できる		0												├	\vdash					
		1. 精神障害リハビリテーションの歴史、経緯について理解する		0										0	<u> </u>							
精神障害リハビリテーショ ン論	精神障害リハビリテーションの概念、理論 や知識を援助場面で活用できる。そこでの 精神保健福祉士の役割を理解する。	2. 精神障害リハビリテーションの知識と接助方法ついて説明できる		0											0							
		9 株地陸家!!ハビ!!▽▽・ハノーヤは2鉱地の砂切せ、トののやリット・マジのマート。		0											_		-					
		3. 精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割について説明できる														<u> </u>	<u> </u>					
ソーシャルワーク演習(専	ソーシャルワークの論理的な判断能力を 養う。分野横断的な総合的かつ包括的な	ソーシャルワークの論理的な判断能力について説明できる 分野横断的な総合的かつ包括的な支援について説明できる		0										0	0							
P9) II	支援について実践的に理解する。	3. 分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践できる		0										0	0							
ソーシン・ロロー 石油田/家	地域アセスメントや評価の仕組みを実践	1. 地域アセスメントや評価の仕組みを実践できる		0										0	0							
ソーシャルワーク演習(専 門)Ⅲ	的に理解する。ミクロ・メゾ・マクロの対象 と展開過程、実践モデルとアプローチにつ いて実践的に理解する	 ミクロ・メゾ・マクロの対象と展開過程を説明できる 実践モデルとアプローチについて実践できる 		0										0	-	 	0					
	ム論、家族の構造理論、エコロジカルな視点に基づく視点からマッピング技法(ジェノ グラム、エコマップ)を使用した事前・事後 学習により、広く人間理解と対人援助技術	 実施のより負い状況を創るソーシャルワークを理解する 	0	0										0			0					
ファミリーソーシャルワーク 論		2. 家族の抱える様々な課題とその支援について理解する	0											0			0					
		3. 家族支援に必要な対人援助技術を修得する	0											0			0					
	認知症高齢者を含めた虚弱・障害高齢者に対する作業体はの概要と呼ばれる	1. 認知症について説明出来る。		0											0		0					
認知症の作業療法	に対する作業療法の概要と評価を理解する。認知症の臨床像とこれからの作業療 法のあるべき役割について学ぶ。	2. 認知症の作業療法評価を理解し、対応を学ぶ。		0											0	0	0					
別知症の作業療法 る 法		 認知症の作業療法の役割について説明できる。 子ども生活動作について理解できる。 		0											0		0					
子どもの作業療法	小児領域に携わる作業療法士がどのよう なこどもの作業療法を実施しているかにつ いて学ぶ。	2. 子ども作業療法について説明できる。		0											0		0					
		3. 子ども作業療法に参加し、実践してみる		0											0	<u> </u>	0					
	子どもの理解を踏まえ、社会的養護の基 礎的な内容を具体的に理解する。また、 施設養護と家庭養護の実際、計画・記録・	1. 社会的養護における児童の権利擁護や保育士などの倫理について具体的に学ぶ		0										0	_	<u> </u>	0					
社会的養護Ⅱ	島己評価の実際、相談援助の方法・技術 について、そして、子ども虐待防止と家庭 支援について理解する。	2. 施設養護及び他の社会的養護の実際について学ぶ		0										0	_	1	0					
	又伝についく理解する。	3. 個々の児童に応じた支援計画を作成し、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について具体的に学ぶ		0										0		0						
ソーシャルワーク演習(専	実習で体験した事例について、研究方法 を理解する。スーパービジョンについて体	1. 実習で体験した事例をもとに事例検討を行い、その意義や方法が説明できる		0										0	<u> </u>		0					
P) IV	を理解する。スーパーピンヨンについて体験的に理解する。	 事例研究が説明できる 実践の質の向上を図るスーパービジョンを体験し説明できる 		0										0	\vdash	\vdash	0					
		1. ソーシャルワーク実習の意義・目的について説明できる		0										0	0							
ソーシャルワーク実習指導 I	ソーシャルワーク実習に向けて実習の意 義を理解する。社会福祉士として求められ る役割や専門職の姿勢について理解する	2. 社会福祉士に求められる役割を説明できる		0			L							0	0							
		3. 価値と理論に基づく専門職としての姿勢について説明できる		0									0	0	L		<u> </u>					
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワークに係る知識と技術につい て具体的かつ実践的に理解し、ソーシャ ルワーク機能を発揮するための基礎的な	1. ソーシャルワークに係る知識について説明できる		0										0	<u> </u>	<u> </u>	0					
ΠA	ルワーク機能を発揮するための基礎的な 能力を習得する	 ソーシャルワークに係る技術について説明できる ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を説明できる 		0										0			0					
	実習で得た体験や援助活動を専門的援助	1. 実習で得た体験や援助活動を専門的援助技術として理論化について説明できる		0										0			0					
ソーシャルワーク実習指導 IIB	技術として理論化し総合的な能力を涵養する	2. 総合的な能力について説明できる		0										0		<u> </u>	0					
	************************************	 ソーシャルワーク実習の内容をまとめ、発表できる 社会福祉士としての支援について説明できる 		0										0	\vdash	 	0					
ソーシャルワーク実習A	社会福祉士としての支援を理解し支援を 必要とする人や地域の状況を理解し、社 会資源等を活用した支援計画の作成、実	2. 支援を必要とする人や地域の状況について説明できる		0			L		L			L		0		L	0					
	施、評価について理解する	3. 社会資源等を活用した支援計画の作成、実施、評価について説明できる		0										0			0					
ソーシャルワーク実習B	施設・機関等が地域の中で果たす役割に ついて実践的に理解する。総合的かつ包 括的な支援における多勝輝連携 地域住	 施設・機関等が地域の中で果たす役割について実践できる 総合的かつ包括的な支援における多職種連携の具体的な在り方について実践でき 		0										0	_	 	0					
· · · · · · / 大日1	括的な支援における多職種連携、地域住 民との連携の具体的な在り方について実 践的に理解する	る 3. 穀合的かつ包括的な支援における地域住民との連携の具体的な在り方について実 酸できる		0										0		1	0					
	M A	感できる 1. 精神保健福祉場面における対人援助の理論について理解する		0										0			0					
精神保健福祉演習Ⅰ	ソーシャルワークを展開するための精神 保健福祉士の専門性の基礎を獲得する	2. 精神保健福祉援助場面における技術を習得する		0					_		_				0	<u> </u>	0					
		精神保健福祉援助場面において適切な援助関係が構築できる I・I で習得した知識・技術を活用して、具体的事例で対応する	-	0						-				0	0	 	0					
精神保健福祉演習Ⅱ		2. 臨床場面おいての援助事例を理解する		0											0		0					
	をコーディネートできるようになる	3. 精神保健福祉士としての援助場面における価値・倫理をまとめる		0										0			0					
OR AL ID PARTIES IN THE	精神保健福祉士として政策や制度、関係	 1. 共生社会に向けた精神保健福祉士の役割について説明できる 2. 精神保健福祉士として政策や制度、関係行政や地域住民に働きかけについて説明 		0											0	<u> </u>	0					
精神保健福祉演習Ⅲ	行政や地域住民に働きかけられるように なる。職業アイデンティティの構築ができる	2. 精神体証価値工として収集や制度、関係行政や地域住民に関さかけについて説明 できる		0			1			ļ					0	<u> </u>	0					

								Ŧ.	プロマボ	リシーの	項目番号						
学科目	料目の主題	料目の到達目標		〇:DP達成のために設定された到達日標と開達性がある ※1つの達成日標に対して最大3個まで													
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
精神保健福祉実習指導Ⅰ	精神保健福祉援助実習に係る個別指導 及び集団指導を通して、精神保健福祉援 助に係る知識と技術について具体的かつ	1. 実習施設の機能と精神保健福祉援助における役割について理解する		0										0	0		
	実践的に理解、学習する。精神保健福祉	2. 対人援助場面における対応に必要な知識・技術の確認		0										0			0
		3. 実習施設について、具体的資料などから理解を深める		0					0						0		
	精神保健指柱援助実習に係る個別指導 及び集団指導を通して、精神保健指柱援 助に係る知識と採用についた異体形についた異体を 実施的に異な、宇宙する、精神保健指趾 士として求められる問題、技能、他自 己に求められる問題、技能、他 実置での体験、提助活動を、専門的援助 技術として来る。 技術として、関助活動を、専門的援助 技術として来る。	1. 実習施設の機能と精神保健福祉援助における役割について理解する		0										0	0		
精神保健福祉実習指導Ⅱ		2. 対人援助場面における対応に必要な知識・技術の確認		0										0			0
		3. 実習施設について、具体的資料などから理解を深める		0	0										0		
	精神保健福祉士が知識と技術を生かし	1. 実習先の利用者や職員との基本的な関係を築く		0										0			0
精神保健福祉実習A	て、専門職として役割を果たすには何が 重要なのかを現場から学び、さらに現場 精神保健福祉士として必要な知識および	2. 実習先の利用者の課題を理解する		0									0				0
	技術・関連知識を、現場体験を通して具体 的に理解を深め習得することを目的とする	3. 実習先の精神保健福祉士の役割を理解する		0										0			0
	精神保健福祉士が知識と技術を生かし	1. 実習先の利用者に対して個別支援計画を策定する		0										0			0
精神保健福祉実習B	て、専門職として役割を果たすには何が 重要なのかを現場から学び、さら現場精 神保健福祉士として必要な知識および技 術、関連知識を、現場体験を通して具体的	2. 実習先での他職種間との連携、地域との関係について理解する		0													0
	何・関連知識を、現場体験を通じて具体的 に理解を深め習得することを目的とする	3. 実習計画書にあげた実習目的を達成する		0										0			0